

# I 令和4年度 公益財団法人高槻市文化スポーツ振興事業団事業報告

令和4年度事業計画に基づき、以下のとおり事業を行いました。

## 1. 地域の芸術・文化等の振興を図る事業【公益目的事業①】

自主文化事業の企画・実施や市民の自主的な文化活動の援助等を通じて市民文化の振興を図り、魅力ある市民文化、個性豊かな地域文化の創造に寄与することを目的として、本事業を実施しました。

令和4年度は、7月末に市民会館を閉館し、令和5年3月には高槻城公園芸術文化劇場がオープンしたことから、市民や行政・関係機関などと協力して市民会館クロージングイベントを実施し、市民会館の思い出を引き継ぐとともに、高槻城公園芸術文化劇場のオープンへの期待を高めました。

### (1) 鑑賞事業

施設の規模や機能を効果的に活用し、市民が優れた芸術・文化にふれることができる鑑賞機会を提供しました。

以下のように世代・立場を超えてあらゆる市民に対し幅広い分野で質の高い、多種多様な事業を実施しました。また、長年、高槻現代劇場の事業を運営し培ってきた実績やノウハウ、演者との繋がりを活かし、単なる鑑賞系事業にとどまらない高槻現代劇場オリジナル企画を提供しました。

◇主な事業

- ・第29回 茂山一族デラックス狂言会
- ・みんなで聴こう☆オーケストラ！大阪フィルハーモニー交響楽団「運命」「田園」
- ・第27回、28回 レセプション亭落語会～千朝さんと楽しむ上方落語～
- ・高槻文化友の会特別企画① 市民会館クロージングイベントⅠ  
歌でめぐる大ホールの思い出～1964年オープンから未来へ～
- ・市民会館クロージングイベントⅡ  
みんなでフィナーレ★大ホール～ピアノの魔術師とともに～
- ・第25回 高槻明月能「邯鄲」

### (2) 普及・育成事業

市民が身近に芸術・文化を楽しみ、興味を持つことができる機会を提供するとともに、子どもたちが幼少期から優れた芸術・文化にふれることができる機会を提供しました。

以下のように誰もが気軽に参加できる事業を開催し、芸術・文化にふれる機会を提供しました。また、学校や地域等と連携し、アウトリーチ事業を計画的に実施し、身近な場所で芸術・文化にふれる機会や体験の場を提供しました。

◇主な事業

- ・茂山一族デラックス狂言会プレイベント
- ・みんなで聴こう☆オーケストラ！プレイベント  
指揮者に聞こう！「運命」「田園」ベートーヴェンの革新性
- ・こども広場2022 ごにんばやしになってみよう！（能楽）
- ・こども広場2022 和だいこをたたいてみよう！（和太鼓）

- ・高槻明月能プレイイベント「能はゆかしい おもしろい」
- ・障がいのある人のための和太鼓体験
- ・学校等アウトリーチ

### (3) 交流連携事業

多数の人数が来場する市民参加型事業のほか、地域、商店街等、イベント等と連携した催しを開催し、地域全体の活性化に寄与するとともに、ホールで公演が行われていない時にも賑わいを創出することができるような事業等を実施しました。

以下のように実行委員会形式も含め、市内で活動する文化団体の活動を支援するほか、地域のプロの芸術家と連携した事業など、広く市民が参加できる事業を実施しました。また、プロの芸術家と市民が新しい作品を創造する機会を提供し、市民の表現活動を支援するとともに、人材の育成に努めました。

#### ◇主な事業

- ・高校吹奏楽部によるブラスの祭典 そよかぜコンサート 2022
- ・Takatsuki Earnest Dancers Vol.13 (高校生ダンス発表会)
- ・第24回高槻ジャズストリート
- ・高槻市吟剣詩舞道連盟による詩吟大会
- ・第23回大阪国際音楽コンクール
- ・筑前琵琶 山崎旭萃一門会
- ・第14回たかつきスクール JAZZ コンテスト

### (4) 市民の文化活動を推進及び支援する事業

市民や行政と連携した事業の実施により市民の芸術・文化活動を推進及び支援しました。

以下のように地域のイベントや地元の商店街と連携し、地域と一体化した文化のまち高槻を目指しました。また、市外の芸術・文化団体と連携し、芸術・文化をとおした都市交流を推進して、高槻市のイメージ向上に寄与しました。

芸術・文化関係の情報収集に努め、市民からの相談に応じて、アーティストの紹介や企画の提案などを行いました。

高槻市及び京都芸術大学アートプロデュース学科との協働による、高槻城公園芸術文化劇場の開館記念プレイベントを開催し、オープンに向けた機運醸成を図るとともに、これまで市民会館に馴染みのなかった人たちへのPRにも繋げました。

#### ◇主な事業

- ・Takatsuki Art Challenge (障がいのある人のアート展)
- ・第61回 高槻市美術展覧会
- ・令和4年度 高槻市文化祭
- ・第5回桐山清澄杯将棋大会、第4回高槻こども王将戦
- ・高槻市民寄席
- ・ロビーコンサート、サロンコンサート
- ・高槻城公園芸術文化劇場 開館記念プレイベント 出展アーティストによるトークイベント
- ・高槻城公園芸術文化劇場 開館記念プレイベント 高槻芸術時間「インターロード」

#### (5) 文化・芸術関係の情報発信事業

芸術・文化関係の情報発信に努め、イベント等の情報について情報誌やインターネットを通じて情報発信を行いました。また、市民からの相談に応じて、アーティストの紹介や企画の提案等を行いました。

##### ◇主な事業

- ・市民会館の思い出・メッセージを公開（クロージングイベント）
- ・新情報誌「T A T」の発刊
- ・新ホームページの作成及びSNS（facebook）の運営
- ・情報コーナーの運営

#### (6) 生涯学習事業

生涯学習に係る機会を提供することにより、市民の生涯にわたる学習活動を推進し、市民の生涯学習活動の振興に資する事業を行いました。

##### ◇主な事業

- ・けやきの森市民大学
- ・伝統的大衆芸能の世界（NPO 法人たかつき市民カレッジと共催で講座を実施）

#### (7) 施設の管理・運営事業

高槻市民の芸術・文化、生涯学習活動を推進し、芸術・文化及び生涯学習の振興を図るため、条例等に基づき、高槻現代劇場（高槻市立文化会館）、高槻市立生涯学習センター、クロスパル高槻（高槻市立総合市民交流センター）の施設の貸与を行いました。

高槻城公園芸術文化劇場については、開館前に利用者向け施設見学会を行い、令和 5 年 3 月 18 日（土）には市と協力して開館記念式典を開催し、劇場の管理運営を開始しました。

そのほか、市民の芸術・文化活動の援助として後援名義使用を許可しました。（16 件）

## 2. 地域のスポーツ活動の振興を図る事業【公益目的事業②】

市民スポーツへの支援活動等を行うことにより、市民が広くスポーツに親しみ、豊かな人間性の涵養と健康で活力に満ちた明るい市民生活の実現に寄与することを目的として本事業を実施しました。

高槻市スポーツ推進計画のもと、市民のだれもがスポーツを「する」・「みる」・「ささえる（育てる）」環境の場を提供し、生涯スポーツの振興を図る団体として地域のスポーツ活動への支援を行いました。

#### (1) 各種スポーツイベント等への協力

##### ◇主な事業

- ・第 31 回高槻シティーハーフマラソン
- ・第 24 回高槻クロスカントリー大会
- ・高槻市スポーツ団体協議会への支援
- ・大阪府総合体育大会等への役員及び選手の派遣
- ・令和 4 年度プロ野球ウエスタンリーグ公式戦への支援

## (2) スポーツ体験の機会の提供

### ◇主な事業

- ・ 第 8 回小学生を対象とした合同スポーツ体験教室
- ・ 第 43 回高槻市民スポーツ祭（中止）
- ・ 障がい者スポーツ事業への支援
  - ・ サウンドテーブルテニス市民交流大会
  - ・ 市民ふれあい運動会（中止）
  - ・ ふれあいレクリエーションスポーツの集い
  - ・ 障がい者スポーツ懇話会へ委員として参加
- ・ 高槻市スポーツ推進委員協議会との共催事業
  - ・ 高槻市わくわく親子リズム
  - ・ 高槻市ニュースポーツの集い
- ・ オリックスバファローズ選手による少年野球教室（中止）
- ・ 親子わくわくベースボールの集い（中止）

## 3. 地域の芸術・文化等の振興に資する事業 【収益事業等】

市民の芸術・文化等の振興を図り、各施設の利用者への利便の向上を目的として、事業を実施しました。

### (1) 公益目的以外での施設の貸与

公益目的である芸術・文化等の振興を達成する利用以外にも施設を貸与しました。

### (2) 行政機関が使用する場所の管理

クロスパル高槻内の行政機関（消費生活センター、パスポートセンター等）が使用する場所の管理を行いました。

### (3) 高槻文化友の会運営事業

会員受付数：高槻文化友の会 1,327 口

〔内訳：一般会員 252、グリーン会員 1,062、法人会員 13〕

高槻文化友の会特別企画②として、会員向けに高槻城公園芸術文化劇場の見学会を開催しました。

### (4) 広告掲載事業

情報誌への広告掲載を有料で受託しました。（1 件）

### (5) 公演チケットの委託販売

高槻市における芸術・文化及び生涯学習の振興に資すると判断される公演について、主催者からの依頼を受けチケットを販売しました。（5 公演）

### (6) 施設の利用者の利便を図る事業

自動販売機の設置、有料駐車場の運営を行いました。

1. 地域の芸術・文化等の振興を図る事業一覧

(1) 鑑賞事業

No.	事業名	内容	開催日	開催場所	入場者数	主催 共催
1	第29回 茂山一族デラックス狂言会	解説 茂山宗彦 演目と出演＝「千鳥(ちどり)」茂山千五郎、茂、島田洋海、「太刀奪(たちうばい)」茂山七五三、宗彦、逸平、「鬪罪人(くじざいにん)」茂山あきら、千五郎、茂、千之丞、竜正、虎真、井口竜也  〔特徴〕毎年恒例の京都・大蔵流茂山千五郎家による狂言会。高槻では茂山家一族ほぼ総出演の構成が特徴。過去2回は感染拡大防止のため中止、3年ぶりの開催となった。今回は各地のお祭りを題材にした演目でまとめた。	5月29日 (日)	高槻現代劇場 中ホール	263	主催
2	みんなで聴こう☆オーケストラ！ 大阪フィルハーモニー交響楽団「運命」「田園」	出演＝石川征太郎(指揮)、大阪フィルハーモニー交響楽団 曲目＝L.v.ベートーヴェン:交響曲第5番 ハ短調 作品67「運命」、交響曲第6番 ヘ長調 作品68「田園」  〔特徴〕名門オーケストラによる演奏会。感染拡大防止のため中止になった前々年度から3年目によりやう開催できた。市民の期待が高く市内小中学生と家族招待枠での参加率も高かった。	6月4日 (土)	高槻現代劇場 大ホール	1,141	主催
3	第27回 レセプション亭落語会 ～千朝さんと楽しむ上方落語～	出演と演目＝桂 千朝「天神山」、桂 雀三郎「寝床」、桂 佐ん吉「幽霊の辻(小佐田定雄作)」、桂 りょうば「道具屋」  〔特徴〕レセプションルームでの親しみやすさを活かした落語会。桂千朝と協働し、毎回異なるテーマに沿った演目・演者で臨む。第27回は故・桂 枝雀の持ちネタ特集。	6月5日 (日)	高槻現代劇場 レセプションルーム	166	主催
4	高槻文化友の会特別企画① 市民会館クロージングイベントⅠ 歌でめぐる大ホールの思い出 ～1964年オープンから未来へ～	出演＝田邊織恵(ソプラノ)、高嶋優羽(ソプラノ)、竹内直紀(テノール)、樹 貴志(バリトン)、金関 環(ヴァイオリン)、喜多光三(ピアノ・アコーディオン) 曲目＝君は薔薇より美しい、涙そうそう、精霊流し、チャルダッシュ、キャンディーズ メドレー、遠くで汽笛を聞きながら、お嫁サンバ、世界に一つだけの花、美空ひばり メドレー 他  〔特徴〕高槻文化友の会会員向けサービス企画。1964年の開館から閉館に至るまで多くの歌手がステージに立った大ホールで市民の記憶に残る歌手たちのヒット曲を楽しんだ。市民からのリクエストも募ったほか、ロビーにはかつて訪れたスターのサインや公募による思い出写真を展示。終演後には舞台体験の機会を設け希望する市民がステージに立った。	6月11日 (土)	高槻現代劇場 大ホール	591	主催
5	市民会館クロージングイベントⅡ みんなでフィナーレ★大ホール ～ピアノの魔術師とともに～	出演＝ピアノの魔術師/ミッチェリー(ピアノ)、高田亮介(ギター)、SEAI(ドラム)、増谷紗絵香(キーボード)、TOY森松(パーカッション)、田島 隆(タンバリン)、斎藤一郎(ウッドベース)、高槻市少年少女合唱団/国久昌弘(指揮)、大片ひかり(ピアノ)、濱田剛史高槻市長(指揮) 曲目＝星に願いを、聖者の行進、リベルタンゴ、クラシックメドレー2022、BELIEVE、カイト、高槻市歌 他  〔特徴〕子どもから大人まで誰もが楽しめる音楽ユニットと高槻市少年少女合唱団のソロ・合奏、濱田剛史高槻市長の指揮による高槻市歌の演奏で、市民会館大ホール最後の舞台を盛り上げた。世代を超えた多くの市民がステージを共有し、2023年3月にオープンする高槻城公園芸術文化劇場の周知と期待につなげた。	7月31日 (日)	高槻現代劇場 大ホール	1,410	主催
6	第25回 高槻明月能「邯鄲」	演目と出演＝一調「松虫」山本哲也(大鼓)、片山九郎右衛門(謡)、狂言「鍔屑」野村萬斎(ひくず)、能「邯鄲」片山九郎右衛門、井上由理子(アブトク) 他  〔特徴〕最高水準の演者により高槻現代劇場ブランドとして継続開催。京都の片山家能楽・京舞保存財団との協働企画。片山九郎右衛門によるホール機能を生かした演出が特徴。若い世代の来場も目立った。	11月8日 (火)	高槻現代劇場 中ホール	284	主催

7	平和堂財団芸術奨励賞受賞者演奏会 鳩の音楽会2022	出演＝2021年度平和堂財団芸術奨励賞受賞者：吉延佑里子(フルート)、宮本江里佳(オーボエ)、脇阪法子(ソプラノ)、これまでの芸術奨励賞受賞者(ゲスト)：武田優美(ピアノ)、久津内 瞳(ピアノ) 曲目＝メンデルスゾーン：歌の翼に、リヴィエ：ソナチネ、早坂文雄：春夫の詩に抱る四つの無伴奏の歌より“うぐひす”、ベネディクト：ジブシーと小鳥 他  〔特徴〕滋賀県在住・在職・出身で将来優秀な芸術活動が期待できる新進芸術家の活動助成のため公益財団法人平和堂財団が実施している芸術奨励賞(音楽部門)受賞者による演奏会。びわ湖ホール、ひこね市文化プラザと高槻で開催。	11月11日 (金)	高槻現代劇場 中ホール	399	共催
8	第28回 レセプション亭落語会 ～千朝さんと楽しむ上方落語～	出演と演目＝桂 千朝「愛宕山」、桂 米團治「三枚起請」、桂 まん我「りんきの独楽」、桂 九ノ一「御公家女房」  〔特徴〕レセプションルームでの親しみやすさを活かした落語会。桂千朝と協働し、毎回異なるテーマに沿った演目・演者で臨む。第28回は女性が登場するネタ特集。	12月10日 (土)	高槻現代劇場 レセプションルーム	238	主催

## (2) 普及・育成事業

No.	事業名	内容	開催日	開催場所	入場者数	主催 共催
1	茂山一族デラックス狂言会イベント	出演＝茂山 茂、茂山逸平、山下守之 内容と演目＝狂言にまつわる話や本公演での演目の解説と、狂言「口真似」の実演  〔特徴〕恒例のホール狂言会「茂山一族デラックス狂言会」の演目解説と狂言一番。本公演への理解を深める機会とする。過去2回は感染拡大防止のため中止、3年ぶりの開催となった。茂山千五郎家が開く年間の奉納狂言について講師陣が思い出やエピソードを交えて語った。	4月20日 (水)	高槻現代劇場 レセプションルーム	72	主催
2	みんなで聴こう☆オーケストラ！ イベント 指揮者に聞こう！「運命」と「田園」 ベートーヴェンの革新性	出演＝石川征太郎 内容＝6月4日実施予定のオーケストラ公演に向けた指揮者によるお話  〔特徴〕本公演のプログラム、ベートーヴェンの「運命」「田園」の総譜をスクリーンに投影して楽曲の特徴を丁寧に解説。ピアノ演奏や動画を交えた説明は具体的に分かりやすく、本公演への期待が高まった。	5月14日 (土)	高槻現代劇場 レセプションルーム	127	主催
3	こども広場2022 ごにんばやしになってみよう！（能楽）	講師＝林本 大(観世流シテ方)、斉藤 敦(森田流笛方)、久田陽春子(大倉流小鼓方)、山本寿弥(大倉流大鼓方)、上田慎也(金春流太鼓方) 内容＝能囃子方の楽器(能管・小鼓・大鼓・太鼓)の解説や体験と舞囃子の鑑賞 対象＝小学生□  〔特徴〕子ども・ファミリーが高槻現代劇場に足を運ぶ機会を増やし、高槻現代劇場が「気軽に楽しむ・遊ぶ・心を解き放つ場」であることを知ってもらう。想像力を豊かにする文化・芸術体験として異なるジャンルで開催。講師は能楽協会大阪支部所属の若手能楽師。2回開催。	8月11日 (木・祝)	高槻現代劇場 レセプションルーム	①11 ②8	主催
4	こども広場2022 和だいこをたたいてみよう！（和太鼓）	講師＝高槻太鼓メンバー 内容＝「高槻ウェーブ」の演奏体験 対象＝小学生  〔特徴〕高槻太鼓メンバーによる基本的な和太鼓の叩き方の指導から高槻ウェーブの演奏。2回開催。	8月20日 (土)	高槻現代劇場 レセプションルーム	①21 ②22	主催
5	謡と鼓の短期体験教室 前期	講師＝TTR能プロジェクト／成田達志(幸流小鼓方)、山本哲也(大倉流大鼓方) 内容＝能「阿漕」の解説と謡・鼓の一部を体験  〔特徴〕能の囃子方が指導する謡と鼓の体験講座。初心者も気軽に能楽に触れ、既に親しんでいる方にはより深い理解を得る機会を提供。2回の講座のみのコースと、能楽堂公演鑑賞付き(湊川神社神能殿)の二つのコースがある。	8月23日 (火) 31日 (水)	高槻現代劇場 展示室	のべ 36	共催

6	高槻明月能プレイベント 「能はゆかしい おもしろい」	出演＝片山九郎右衛門(シテ方観世流能楽師) 内容＝高槻明月能の演目「邯鄲」の解説を中心に能楽についてのお話  〔特徴〕能「邯鄲」の記録映像を投影しながら、シテならではの役に寄り添った視点であらすじや作品の見どころを解説。謡の一節を仕舞で実演し、装束着付け体験も行った。	10月12日 (水)	高槻現代劇場 レセプションルーム	56	主催
7	障がいのある人のための和太鼓体験	講師＝高槻太鼓メンバー 内容＝和太鼓の体験  〔特徴〕障がいのある人が気軽に参加できる和太鼓体験の場。高槻市障害児者団体連絡協議会と連携し、高槻太鼓の協力を得て取り組んだ。	12月10日 (土)	高槻現代劇場 中ホール ロビー	27	主催
8	学校等アウトリーチ〔音楽〕 金関 環ヴァイオリンコンサート	講師＝金関 環(ヴァイオリン)、加藤英雄(ピアノ) 内容＝愛の喜び、ハンガリー舞曲第5番、情熱大陸、ビゼー:オペラ「カルメン」から前奏曲、楽器紹介&楽器体験 他  〔特徴〕地域や学校に出向いて音楽や演劇などの芸術文化に触れてもらうとともに当事業団の活動の周知の機会とするアウトリーチ事業。ヴァイオリンとピアノで親しみやすいプログラムを体育館で鑑賞。対象:①6年生 ②4～6年生	①5月24日 (火) ②11月30日 (水)	①土室小学校(阿武山小合同) ②北日吉台小学校	①183 ②250	主催
9	学校等アウトリーチ〔狂言〕 狂言鑑賞・ワークショップ	講師＝茂山千三郎、黒川 亮(大蔵流狂言師) 内容＝狂言のお話、狂言「柿山伏」  〔特徴〕小学6年生の国語で学ぶ狂言「柿山伏」を題材に実施。狂言の仕草の解説や実演など、日本の古典芸能を身近に感じられる機会を提供。対象:①5、6年生 ②6年生、中学1年生 ③6年生	①6月2日 (木) ②10月26日 (水) ③12月20日 (火)	①三箇牧小学校(柱本小合同) ②城南中学校(若松小・西大冠小合同) ③竹の内小学校	①147 ②206 ③113	主催
10	学校等アウトリーチ〔演劇〕 演劇体験ワークショップ	講師＝木村雅子、大熊ねこ 他 内容＝コミュニケーションゲーム、身体でモノや場所を表現し当て合うゲームなど  〔特徴〕演劇制作のノウハウを活かした表現やコミュニケーションを楽しむ体験型のワークを体育館で実施。対象:①3年生 ②4年生 ③6年生	①10月19日 (水) ②11月2日 (水) ③11月4日 (金)	①寿栄小学校 ②松原小学校 ③真上小学校	①48 ②66 ③85	主催
11	歌声くらぶ in 高槻	講師＝喜多光三(ピアノ・アコーディオン)、竹内直紀(テノール) ゲスト/大野 隆、北野智子、加藤英雄、志生太 内容＝唱歌や流行歌を中心にした参加型歌唱講座とオペラ歌手などによるミニコンサート  〔特徴〕曲の時代背景など解説やエピソードを交えて愛唱歌を斉唱で味わった。市民会館閉館により、8月から会場を文化ホール3Fレセプションルームに移して開催。	毎月 第4水曜日 9月のみ 開催なし	高槻現代劇場 4～7月:402号室 8月～:レセプションルーム 9月は開催なし	のべ 681	共催
12	人形劇団クラルテ公演「ペンギンたんけんたい」	出演＝人形劇団クラルテ 内容＝人形劇ペンギンたんけんたい(原作/斉藤 洋、脚色/吉田清治、演出/三木孝信) プレワークショップ「つくって遊ぼう!人形劇」  〔特徴〕7月恒例の子ども向け人形劇公演。人気の児童書「ペンギンたんけんたい」を原作にした作品を大勢のファミリーが楽しんだ。親子を対象に人形作りのプレワークも実施した。	①プレ事業 6月26日 (日) ②公演 7月18日 (月・祝)	高槻現代劇場 ①206号室 ②中ホール	①23 ②470	共催
13	謡と鼓の短期体験教室 後期	講師＝TTR能プロジェクト/成田達志(幸流小鼓方)、山本哲也(大倉流大鼓方) 内容＝能「三井寺」の解説と謡・鼓の一部を体験  〔特徴〕能の囃子方が指導する謡と鼓の体験講座。初心者でも気軽に能楽に触れ、既に親しんでいる方にはより深い理解を得る機会を提供。2回の講座のみのコースと、能楽堂公演鑑賞付きの二つのコースがある。能楽鑑賞は、大槻能楽堂でのTTR能プロジェクト20周年記念公演「能「三井寺」「石橋」他。	1月18日 (水) 25日 (水)	高槻現代劇場 展示室	のべ54	共催

14	高槻文化友の会特別企画② 高槻城公園芸術文化劇場見学会	4月から始まる開館記念事業実施前に高槻文化友の会会員に向けた新劇場の見学会を開催。いち早く劇場を見ていただくことで、開館記念事業への関心を高め、会員満足度の向上に繋げる。高槻市の協力も得ながら、トリシマホールや太陽ファルマテックホールの他、普段は見ることのできない楽屋やアーティストサロンも見学ルートに入れ、多くの参加者が楽しんだ。	3月26日 (日)	高槻城公園芸術文化劇場 南館	379	主催
----	--------------------------------	--	--------------	----------------	-----	----

### (3) 交流連携事業

No.	事業名	内容	開催日	開催場所	入場者数	主催 共催
1	高校吹奏楽部によるプラスの祭典 そよかぜコンサート2022	出演＝大冠、関西大学中・高等部、北千里、金光大阪中・高、千里、高槻北、高槻中・高、三島 各高校吹奏楽部 内容＝各高校吹奏楽部による単独演奏と、フィナーレに合同演奏「翼をください」  〔特徴〕市内高校を中心とする吹奏楽部8校によるコンサート。準備から演奏会実施までのすべてを高校生が自主的に運営。	6月19日 (日)	高槻現代劇場 大ホール	1,503	主催
2	Takatsuki Earnest Dancers Vol.13 (高校生ダンス発表会)	出演＝芥川、阿武野、追手門学院、大阪青凌、春日丘、北千里、北野、神戸村野工業、渋谷、千里青雲、高槻北、槻の木、豊島、豊中、浪速、福井、北摂つばさ、三島 各高校ダンス部 内容＝高校ダンス部18校による発表会(35チーム367名参加)  〔特徴〕市内外の高校のダンス部によるホールでの本格的な発表公演。参加する生徒・顧問による実行委員会が自主的に企画・運営。発表会部門とコンテスト部門に加え、前回は引き続き生徒個人で出場するダンスバトルも実施。	7月26日 (火)	高槻現代劇場 大ホール	497	主催
3	アクトズラボ高槻 劇研ワークショップ	講師＝伊藤拓也(演出家)  〔特徴〕プロの演出家を講師に迎え、「演劇の会あした帰った」令和5年6月の公演実施を目指す演劇ワークショップ。15才以上対象。	通年	高槻現代劇場 集会室 等	のべ270	共催
4	第24回 高槻ジャズストリート	出演＝ケイコ・リー(ボーカル)、TOKU(ボーカル&フリューゲルホルン)、デイヴィッド・マシューズ(ピアノ) 他  〔特徴〕高槻の街が熱狂するジャズストリート。ビッグネームが登場する大ホールイベントの他、レセプションルーム、展示室で開催されるコンサートを支援。	5月3日 (火・祝) 4日 (水・祝)	高槻現代劇場 大ホール 等	のべ 7,500	共催
5	高槻市吟剣詩舞道連盟による詩吟大会	出演＝一般市民 曲目＝課題曲吟詠 〔特徴〕高槻市吟剣詩舞道連盟が誘致して開催する全国大会を支援。5月にジュニア、シニア、6月一般、7月指導者の部門別で開催した。	①5月29日 (日) ②6月26日 (日) ③7月10日 (日)	高槻現代劇場 大ホール 等	①400 ②550 ③670	共催
6	ロバの音楽座「ココロよるこぶオンガクカイ」	出演＝松本雅隆(バグパイプ、リコーダー 他)、上野哲生(リュート、打楽器 他)、富田りぐま(ポルタティーフオルガン、歌 他)、大宮まふみ(フルート、歌 他)、長井和明(セルバン、ブンカババップ 他)、松本更紗(ヴィオラダガンバ、笙、踊り 他)  〔特徴〕長年地域で活動している三島子ども文化ステーションによる親子でリラックスして楽しめるコンサート。感染拡大防止のため中止となった2022年1月の公演を再企画。多彩な民俗楽器と愉快なパフォーマンスを大勢の家族連れが楽しんだ。	6月25日 (土)	高槻現代劇場 402号室	200	共催



7	高槻市コンサート協会 混声合唱組曲「摂津峡讃歌」演奏会	出演＝高槻市民合唱団、国久昌弘(指揮)、内藤里美(ソプラノ)、総毛 創(テノール)、金月里紗、村崎愛(ピアノ) 曲目＝神田長鉄作詞・池田則彦作曲:混声合唱のための組曲「摂津峡讃歌」、バーンスタイン:「ウェストサイドストーリー」よりトゥナイト、フォスター:ザ・プレイヤー 他  〔特徴〕市民会館クロージング記念として、市内で長年活動する文化団体による大ホールでの合唱演奏会を支援。	7月24日 (日)	高槻現代劇場 大ホール	800	共催
8	第23回 大阪国際音楽コンクール	出演(コンサート)＝ファイナル審査第1位受賞者24組  〔特徴〕予選・地区本選にはのべ2,314組が参加。高槻では、声楽部門のファイナル審査を生涯学習センター多目的ホール、ファイナル審査第1位受賞者によるグランドファイナル＝ガラコンサートを中ホールで開催した。グランプリは該当者なし、高槻市長賞は声楽部門の越永健太郎(メゾ・ソプラノ)。	10月 ①9日(日) ②10日 (月・祝)	①生涯学習センター 多目的ホール ②高槻現代劇場 中ホール	②245	共催
9	高槻室内管弦楽団 第17回 定期演奏会	出演＝寺坂隆夫(指揮)、大澤俊之(指揮)、高槻室内管弦楽団 曲目＝ベートーヴェン:「エグモント」序曲、モーツァルト:交響曲第38番K.504「プラハ」、ベートーヴェン:交響曲第4番Op.60  〔特徴〕高槻市を拠点に活動するアマチュア室内管弦楽団の活動と発表の場を支援した。	11月19日 (土)	高槻現代劇場 中ホール	485	共催
10	筑前琵琶 山崎旭萃一門会「琵琶の音とともに」	演目と出演＝「斎藤實盛」奥村旭翠(人間国宝)、「琵琶二題」山崎光掾 他  〔特徴〕人間国宝で高槻市名誉市民の故山崎旭萃一門による筑前琵琶の演奏会。高槻で継続開催。	12月4日 (日)	高槻現代劇場 レセプションルーム	100	共催
11	第14回 たかつきスクールJAZZコンテスト	出演＝近畿一円の中学校・高校12校のスクールバンド ゲスト/米国空軍太平洋音楽隊 審査員/大山日出男、高岡正人、古谷光広、菊池寿人、蓑輪裕之、クリス  〔特徴〕中学・高校のスクールバンドを対象にしたコンテスト。青少年が音楽に親しむ場を提供し、「まちがすきになる」心を育もうとする地域の活動を支援。高槻市文化スポーツ振興事業団賞に名古屋市立向陽高等学校を選出。審査中及びコンテスト終了後に米国空軍太平洋音楽隊によるゲストライブを実施。	1月15日 (日)	高槻現代劇場 中ホール	912	共催
12	第10回記念 たかつき市民能	演目と出演＝能「菊慈童」浦田保浩、舞囃子「高砂」浦田保親、素謡「神歌」浦田保浩、狂言「棒縛」茂山逸平 他  〔特徴〕高槻で江戸時代から盛んに演じられていた能楽を、広く市民に親しんでもらうことを目指してたかつき能楽に親しむ会が開催。感染拡大防止のため3年連続中止で4年ぶりの開催。子どもたちの発表や演目の解説もあり、伝統芸能を気軽に鑑賞できる機会を提供した。	3月4日 (土)	高槻現代劇場 中ホール	315	共催

(1)～(3) 公演事業数 主催19事業 共催15事業 合計34事業  
入場者数 主催7,914人 共催14,110人 合計22,024人

#### (4) 市民の文化活動を推進及び支援する事業

No.	事業名	内容	開催日	開催場所	入場者数	主催 共催
1	高槻城公園芸術文化劇場 開館記念プレイベント 高槻芸術時間「インターロード」 ①梅田哲也アーティストトーク ②orangcosong「オランコソン」アーティストトーク	講師＝①梅田哲也 ②orangcosong「オランコソン」(アート・コレクティブ) 内容＝高槻芸術時間「インターロード」に出展するアーティストによるプレトーク  〔特徴〕アーティストによる作風や過去作品の紹介と合わせて、今回制作する作品についての展望を解説。本イベントへの期待が高まる内容となった。	①6月21日 (火) ②8月4日 (木)	高槻現代劇場 ①大ホール ②レセプション ルーム	①72 ②45	主催

2	高槻城公園芸術文化劇場 開館記念イベント 高槻芸術時間「インターロード」 ①梅田哲也『9月0才』 ②orangcosong〔オランコソン〕『演劇クエスト 高槻時ノ無限回廊』	出展者＝①梅田哲也 ②orangcosong〔オランコソン〕(アート・コレクティブ) 内容＝①閉館した市民会館内を巡るツアー形式の展覧会『9月0才』 ②「冒険の書」を手がかりに高槻現代劇場を中心とした町中を散策する遊歩型ツアープロジェクト『演劇クエスト 高槻時ノ無限回廊』  〔特徴〕京都芸術大学アートプロデュース学科企画による閉館した市民会館を活用した高槻城公園芸術文化劇場の開館記念イベント。国内外で活躍する2組の現代アーティストが市民会館を題材に作品を発表。市内外から様々な世代の方が来館し、市民会館の記憶を継承しながら新劇場へ繋がるイベントとなった。台風接近に伴う荒天のため9月19日(月)は中止。	9月17日 (土) ～25日 (日) ※9月20日 (火)休館	高槻現代劇場 市民会館及び高槻市内	①のべ 1,099 ②のべ 1,061 ※②は「冒険の書」配布数	主催
3	Takatsuki Art Challenge 創造するチカラ2022	出展者＝猪野兼士、加地英貴、大同美香、中園 晋、村井知香子、村濱正博 賛助出展者＝北口 翔、小林和弘、茶菌大暉  内容＝高槻市内在住作家6名、アトリエライブハウス所属アーティスト3名(賛助出展)による58点の絵画を展示し、併せて創作活動の背景を紹介。  〔特徴〕多彩な感性で描かれた個性豊かな作品を通じて文化芸術活動を推進するとともに、障がいのある方への理解を深めるための美術展を開催。高槻市内の障がい者福祉事業所の製品を販売する「たかつき〇まるしえ」も同じ建物で同時開催し、賑わいの創出とともに市民交流の場となった。	7月15日 (金) ～18日 (月・祝)	安満遺跡公園 歴史拠点体験館 多目的スペース	のべ 788	主催
4	第61回 高槻市美術展覧会	内容＝高槻市との共同主催事業。日本画、洋画、立体造形、工芸、書、写真、デザインの7部門の作品を公募選考して展示。  〔特徴〕市民会館閉館に伴い展示スペースが限られることから、文化ホールを会場に前期・後期に分けて開催。応募総数245点。高槻市美術家協会の審査により入選した235点と招待作家らの作品72点を展示。出席対象者を限定して3年ぶりに表彰式を開催。各会期最終日には出品者懇談会も行った。鑑賞のために多くの市民が来館して賑わいを見せた。	9月15日 (木) ～18日 (日) 9月29日 (木) ～10月2日 (日)	高槻現代劇場 展示室、レセプションルーム	のべ 2,370	主催
5	令和4年度 高槻市文化祭	〔特徴〕創造・創作活動の発表と鑑賞の機会を提供し、市民交流を深めるなど魅力あるまちづくりのための高槻市文化祭として28事業を実施。市民会館閉館に伴い、例年大ホールで実施の事業は中ホールに会場を移して実施。	10月8日 (土) ～11月20日 (日)	高槻現代劇場 中ホール 等	のべ 11,076	主催
6	第5回 桐山清澄杯将棋大会	参加者＝アマチュア棋士 審判＝淡路仁茂九段、畠山成幸八段、高田明浩四段、長谷川優貴女流二段  〔特徴〕当事業団の桐山理事長の名を冠した将棋大会。昨年度は感染拡大防止のため募集人数を制限していたが、今回は例年と同様の募集人数で開催。市の進める将棋文化の振興へ貢献するとともに当事業団のPRの機会となった。	12月18日 (日)	高槻現代劇場 レセプションルーム 等	212	主催
7	第4回 高槻こども王将戦	参加者＝一般公募の小学生 審判＝神崎健二八段、榊 菜吟女流2級  〔特徴〕小学生対象の将棋大会。昨年度は感染拡大防止のため募集人数を制限していたが、今回は例年と同様の募集人数で開催。市の進める将棋文化の振興へ貢献するとともに当事業団のPRの機会となった。	1月21日 (土)	高槻現代劇場 展示室	72	主催
8	ロビーコンサート	高槻音楽家協会との協働により、ランチタイムに市民が気軽に楽しめる生演奏のコンサートを開催し、市民の憩いの場とする。  ・4月26日、5月31日、8月23日、9月27日、10月25日、11月29日、12月20日、1月24日実施	毎月 第4火曜日	生涯学習センター 1階ロビー	のべ 585	主催

9	高槻市民寄席	噺の会じゅげむ(落語愛好家)との協働により、市民寄席を開催し、落語のすそ野を広げる。 ・5月15日、9月18日、11月20日、1月22日、3月19日実施	奇数月	生涯学習センター 1階展示ホール	のべ 742	主催
10	サロンコンサート	高槻音楽家協会との連携事業。ピアノや声楽などの生演奏の音楽を楽しむ。 ・4月24日、6月26日、8月28日、9月25日、11月27日、2月26日、3月26日実施	年7回 第4日曜日	クロスパル高槻 8階イベントホール	のべ 712	主催

(4) 公演事業数 10事業  
 入場者数 合計18,834人

(6) 生涯学習事業

期別	講座種別	講座内容	講師	料金	人数	開催日
春期講座	自然環境ふれあい講座 「高槻・春の自然に触れよう」	可憐な花咲きそう淀川河川敷	ネイチャーたかつき	¥2,000	25	4月5日
		春の鶴殿を歩こう			25	4月19日
		自然あふれる川久保溪谷			22	5月10日
		原を歩こう			24	5月24日
	大阪産業大学提携講座 「匠の技を味わう」	豆腐にやさしい京金網の技	後藤 彰彦	¥2,500	11	6月3日
		水の七不思議と操る匠、その感性と技	黒田 孝二		12	6月10日
		驚くべきネイチャーテクノロジーー水を操る表面ー	石井 大佑		8	6月17日
		茶道点前における一瞬の技	後藤 彰彦		9	6月24日
	阿武山地震観測所提携講座 「どんな地震が起こるのか？ そのときどう行動するか？」	近畿地方の地震活動	飯尾 能久	¥2,500	48	6月7日
		六甲ー淡路島断層帯と兵庫県南部地震			42	6月14日
		有馬ー高槻断層帯と慶長の大地震			45	6月21日
		南海トラフ地震の「臨時情報」について			44	6月28日
夏期講座 こども創作講座 「夏休みに詩をつくらう」	詩をつくらう  発表会	野呂 昶	¥2,500	12	7月29日	
				13	8月1日	
				9	8月2日	
				13	8月4日	
秋期講座	市内大学社会連携セミナー (大阪医科薬科大学)	漢方薬の魅力に触れてみよう!!	芝野 真喜雄	-	59	9月1日
	同志社大学提携講座 続々：知っているようで知らない京都を探索するー京都のど真ん中・ 安藤人形店を訪ねるー	「京人形」(歌舞伎)にみる人形の神秘と奇瑞	山田 和人	¥2,000	11	9月30日
		からくり人形の不思議を解き明かす			11	10月7日
		安藤人形店を訪ねる(フィールドワーク)			10	10月14日
	自然環境ふれあい講座 「高槻の自然を観る」	川久保の秋の自然を楽しもう	ネイチャーたかつき	¥2,000	23	10月4日
		鶴殿のヨシ原を見に行こう			24	10月18日
		樫田地区をめぐる			12	11月1日
		芥川で冬の野鳥を観察しよう			20	12月6日
	関西大学公開講座 「朝鮮の文化と日本」	『古代の朝鮮と日本① ～「双方向」的關係の発見～』	篠原 啓方	¥2,000	33	10月17日
		『古代の朝鮮と日本②～高句麗の世界観と倭～』			31	10月24日
		『碑の文化から見た朝鮮王朝と近世日本』			30	10月31日
	大阪音楽大学公開講座 「音楽の宝石箱」	『マンドリン音楽の300年』～大衆音楽から芸術まで～	柴田 高明	¥3,000	136	10月21日
『ユーモア溢れる日本の歌』		田邊 織恵	167		11月4日	
『生演奏で聴くピアノの楽しみ』		宮岡 利行	122		11月11日	
『めくるめくニセモノの世界』 ～クラシック音楽の偽作をめぐるお話～		江戸 聖一郎	108		11月25日	

期別	講座種別	講座内容	講師	料金	人数	開催日
	大阪成蹊大学・短期大学公開講座	『和漢朗詠集』にみる和と漢ー冬の和歌と漢詩ー	浅野 敏彦	¥2,000	12	11 月 7 日
	「シリーズ 四季を味わう～『冬』～」	『日本中世の文化・文学に「冬」がどのように表れているか？ ー作品から読み解く季節の特性』	岡見 弘道		12	11 月 14 日
		冬に生きる近世の人々	中村 隆嗣		12	11 月 21 日
冬期講座	毎日新聞社提携講座	「安倍元首相銃撃事件で見たもの」	岸 達也	¥2,000	29	2 月 6 日
	「時代を読む『記者の目』」	「ウクライナ避難民～モルドバからの報告」	宮川 佐知子		29	2 月 13 日
		「新聞校閲から考える日本語のいま」	澤村 斉美		26	2 月 20 日
	市内大学社会連携セミナー (大阪医科薬科大学)	「自転車の乗り方はなぜ忘れない？:運動学習とは？」	佐々木 真理 山下 愛美	-	12	2 月 21 日
	特別講座	「キトラ古墳の壁画を読み解く」	来村 多加史	¥1,500	23	2 月 9 日
「壁画古墳の謎を解く」	「高松塚古墳の壁画を読み解く」	25			2 月 16 日	
伝統的大衆芸能の世界 (NPO法人たかつき市民カレッジと共催で講座を実施)		忘れられた「上方講談」の歴史	荻田 清	¥2,000	33	12 月 5 日
		うかれ節・浪花節・浪曲	大西 秀紀		30	12 月 12 日
		現代に生きる古典落語・上方芸能史家	荻田 清		29	12 月 19 日